

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 29 年 6 月 8 日 (2017.6.8)

【公開番号】特開 2016-21323 (P2016-21323A)  
 【公開日】平成 28 年 2 月 4 日 (2016.2.4)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-008  
 【出願番号】特願 2014-144513 (P2014-144513)  
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/525 (2010.01)

H 0 1 M 4/36 (2006.01)

H 0 1 M 4/505 (2010.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/525

H 0 1 M 4/36 C

H 0 1 M 4/505

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 7 日 (2017.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

このような問題を解決するために、リチウム - ニッケル複合酸化物粒子表面上にコーティング剤を用いることにより被覆する方法が提案されている。このようなコーティング剤としては、無機系のコーティング剤と有機系のコーティング剤に大別され、無機系のコーティング剤としてはヒュームドシリカ、酸化チタン、酸化アルミニウム、リン酸アルミニウム、リン酸コバルト、フッ化リチウムなどの材料が、有機系のコーティング剤としては、カルボキシメチルセルロース、フッ素含有ポリマーなどの材料が提案されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

[ 実施例 1 ]

ニッケル系リチウム - ニッケル複合酸化物粒子として遷移金属組成が  $\text{Li}_{1.03}\text{Ni}_{0.82}\text{Co}_{0.15}\text{Al}_{0.03}$  で表される複合酸化物粒子 15 g を 20 ml の水とジフェニルジスルフィド 0.0668 g ( $1.62 \times 10^{-5} \text{ mol} / \text{m}^2 \text{ s}$  相当) を常温で混合した。この混合は、周速 10.5 m / s、攪拌時間 1 分でホモジナイザーを用いて行われた。混合後、吸引濾過により水を分離し、減圧下 100 で 2 時間乾燥させことで被覆リチウム - ニッケル複合酸化物粒子を作成し、下記の評価を行った。